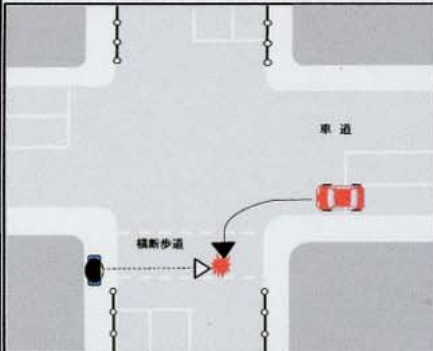


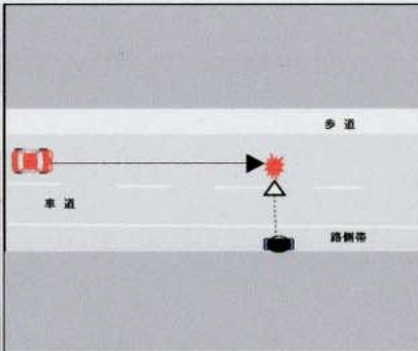
気付いた時には、目の前に歩行者が・・・ 横断歩行者との交通死亡事故が多発傾向!!

過去の事故事例で1月は、「人対車両」が多く、特に横断中の歩行者が死亡するケースが多数を占めています。

発生した過去の交通死亡事故の概要



交差点を左折する際、エアコンの操作に注意を奪われ、横断歩道を横断中の歩行者に気付かず衝突



後部座席に乗せている子どもにも注意を奪われ、単路を横断中の歩行者に気付くのが遅れ衝突



考え事をしながら交差点に入ったため、赤信号で横断歩道を横断中の歩行者に気付くのが遅れて衝突

特に、交差点や交差点付近で要注意!

漫然運転・脇見運転は事故のもと



脇見や考え事をしている間にも、自動車は進みます。また、自動車は急に止まることができません。時速60キロで進行している場合、わずか3秒の間に約51メートル進み、その後、歩行者に気づき、危ないと思い、ブレーキを踏んでも、停止するまでに33メートルも進んでしまうのです。

漫然運転、脇見運転による交通事故を防止するためには・・・

- 運転するときは、脇見、考え事、ぼんやりは厳禁です。運転に集中しましょう。
- エアコンやカーナビの操作は、運転前や停止中に行いましょう。
- 助手席やダッシュボードに物を置かない(落下すれば危険な脇見に繋がります。)
- 運転中の携帯電話使用は厳禁です。

